

2020年10月環境活動報告



こんにちは！九州へ出向中の社員Sです。
今回の環境活動報告は、佐賀県にある有明海に面した、干潟よか公園からのレポートです。

皆さんはシチメンソウという植物を知っていますか？
世界的にめずらしい塩水に生息する植物です。有明海周辺に生息しており、絶滅危惧種にも指定されています。
秋になると紅葉などと同様に赤く染まることから「海の紅葉」とも呼ばれています。
シチメンソウは固い種と柔らかい種の種類をつけ、柔らかい種は生えている付近で、固い種は水の流れに乗り、離れたところで新たに芽吹くのだそうです。生命の不思議ですね！

今回訪れた干潟よか公園では、毎年、ボランティアの方が清掃や整備などの世話に励んでいますが、一昨年は九州北部豪雨で、昨年は台風によって立ち枯れを起こしてしまい、種の存続が危ぶまれていました。今年は大きな災害もなく、3年ぶりに赤く色づいたとのことでした。

地球温暖化による異常気象の影響という住まいや食料など、自分たちのことに目が向きがちですが、その場所にしか生息していない動植物にも大きな影響を与えるということも、今回改めて認識しました。
有明海にはシチメンソウ以外にも塩水で育つ絶滅危惧種の植物や、渡り鳥などの動物が複数生息しています。これらを守るためにも、地球温暖化について真剣に取り組む必要があると強く感じました。



シチメンソウの群生地
ボランティアの方々の苦勞が伺えます



自生していますが、ごく少数です



塩生植物のウラギク

有明海と言えば、ムツゴロウを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか？
干潟よか公園ではムツゴロウとトビハゼを見ることができます。
一見そっくりな2匹ですが、見分け方があるんです！

| ムツゴロウ | |
|-------|---|
| 体表 | 水色の点模様 |
| 動き | ①泥の上など湿った場所でゴロゴロと転がる (皮膚呼吸のため体表の湿りが必須) ②餌を食べるため首を左右に振る。 |
| トビハゼ | |
| 体表 | グレーのまだら模様 |
| 動き | ①水場から水場へ跳ねて移動する。 (湿りがなくても皮膚呼吸が可能) ②餌は巣穴で食べるため干潟で確認できることがあまりない |



皆さんも有明海を訪れたときは、ぜひこれらの生き物を探してみてくださいね！

2020年10月環境活動実績

| | 内容 | 目標 | 当月実績 | 達成度合 | 判定 | 特記事項 |
|----------|------------|-------------------------|----------------------|--------|----|------|
| 節電大臣 | 前年平均値維持 | 1,383 kwh/月 | 976 kwh | 141.7% | 達成 | |
| 節水大臣 | 前年平均値維持 | 9.735 m ³ /月 | 5.212 m ³ | 186.8% | 達成 | |
| ごみ処理大臣 | ゴミ総排出量削減 | 62.28 Kg/月 | 29.64 Kg | 210.1% | 達成 | |
| グリーン購入大臣 | グリーン購入品推進 | 90 %/月 | 91.7 % | 101.9% | 達成 | |
| 製品サービス大臣 | 省エネ省資源化の提案 | 8 件/年 | 2 件 | - | 達成 | |